

カタログ訂正のお知らせ

当社発行のマニュアルにおいて下記のとおり印刷・記載の漏れがありました。
お詫び申し上げます。

■カタログ名

『SYSMAC CSシリーズ モーションコントロールユニット 形CS1W-MC221(-V1)/421(-V1)』
(2008年1月発行) (カタログ番号 SBCE-306G)

■掲載箇所

『SYSMAC CSシリーズ モーションコントロールユニット 形CS1W-MC221(-V1)/421(-V1)』
2-14ページ、2-15ページ、2-19ページ、2-20ページ、2-21ページ、2-22ページ、2-23ページ、2-24ページ

■正誤内容

誤				
【2-14ページ】	33	Y-Z	Y軸Z相入力	Y軸のフィードバック入力のZ相入力
	34	Y-Z	Y軸Z相入力	Y軸のフィードバック入力のZ相入力
	35	YOUT	Y軸速度指令	Y軸ドライバへの速度指令電圧
	36	YAGND	Y軸速度指令グラウンド	Y軸の速度指令電圧のグラウンド
2-14				
正				
【2-14ページ】	33	Y-Z	Y軸Z相入力	Y軸のフィードバック入力のZ相入力
	34	Y-Z	Y軸Z相入力	Y軸のフィードバック入力のZ相入力
	35	YOUT	Y軸速度指令	Y軸ドライバへの速度指令電圧
	36	YAGND	Y軸速度指令グラウンド	Y軸の速度指令電圧のグラウンド
2-14	<p>注：ピンNo.19および20には、2-19～2-24ページに記載以外の配線をしないでください。 2-19～2-24ページに記載以外の配線をした場合には、ユニット内部部品の故障の原因となります。</p>			

次ページにつづきます。

■対応方法

マニュアルを改訂致します。

正誤内容のつづき

誤

【2-15ページ】

33	U-Z	U軸Z相入力	U軸のフィードバック入力のZ相入力
34	U- \bar{Z}	U軸 \bar{Z} 相入力	U軸のフィードバック入力の \bar{Z} 相入力
35	UOUT	U軸速度指令	U軸のドライバへの速度指令電圧
36	UAGND	U軸速度指令グラウンド	U軸の速度指令電圧のグラウンド

2-15

正

33	U-Z	U軸Z相入力	U軸のフィードバック入力のZ相入力
34	U- \bar{Z}	U軸 \bar{Z} 相入力	U軸のフィードバック入力の \bar{Z} 相入力
35	UOUT	U軸速度指令	U軸のドライバへの速度指令電圧
36	UAGND	U軸速度指令グラウンド	U軸の速度指令電圧のグラウンド

注：ピンNo.19および20には、2-19～2-24ページに記載以外の配線をしないでください。
2-19～2-24ページに記載以外の配線をした場合には、ユニット内部部品の故障の原因となります。

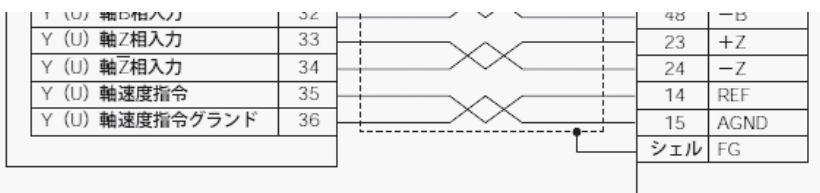
2-15

次ページにつづきます。

正誤内容のつづき

誤

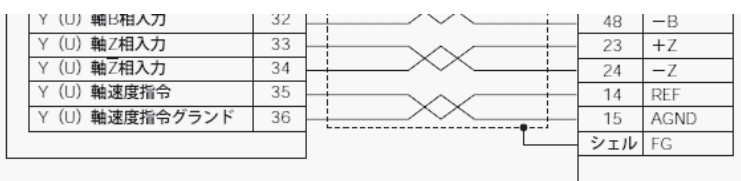
[2-19ページ]



注：*印の端子および配線は、絶対値(ABS)エンコーダ使用時のものです。専用ケーブルを使用してINCエンコーダを使用する際は、*印の接続がされていても問題はありません。お客様でINCエンコーダの結線をされる場合は、*印の配線は不要ですので結線しないでください。

2-19

正



注1：*印の端子および配線は、絶対値(ABS)エンコーダ使用時のものです。専用ケーブルを使用してINCエンコーダを使用する際は、*印の接続がされていても問題はありません。お客様でINCエンコーダの結線をされる場合は、*印の配線は不要ですので結線しないでください。

注2：ピンNo.19および20には、上記以外の配線をしないでください。上記以外の配線をした場合には、ユニット内部部品の故障の原因となります。

2-19

次ページにつづきます。

正誤内容のつづき

誤

【2-20ページ】

注：*印の端子および配線は、絶対値(ABS)エンコーダ使用時のものです。専用ケーブルを使用してINCエンコーダを使用する際は、*印の接続がされていても問題はありません。お客様でINCエンコーダの結線をされる場合は、*印の配線は不要ですので結線しないでください。

2-20

正

注1：*印の端子および配線は、絶対値(ABS)エンコーダ使用時のものです。専用ケーブルを使用してINCエンコーダを使用する際は、*印の接続がされていても問題はありません。お客様でINCエンコーダの結線をされる場合は、*印の配線は不要ですので結線しないでください。

注2：ピンNo.19および20には、上記以外の配線をしないでください。上記以外の配線をした場合には、ユニット内部部品の故障の原因となります。

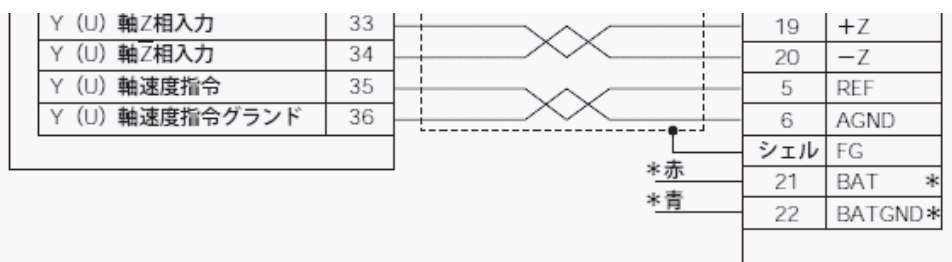
2-20

次ページにつづきます。

正誤内容のつづき

誤

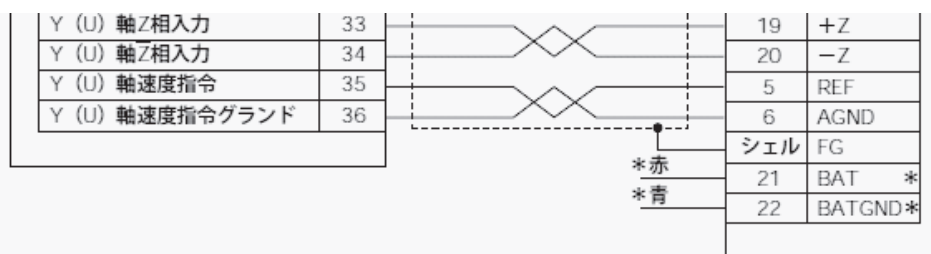
【2-21ページ】



注：*印の端子および配線は、絶対値(ABS)エンコーダ使用時のものです。専用ケーブルを使用してINCエンコーダを使用する際は、*印の接続がされていても問題はありません。お客様でINCエンコーダの結線をされる場合は、*印の配線は不要ですので結線しないでください。

2-21

正



注1：*印の端子および配線は、絶対値(ABS)エンコーダ使用時のものです。専用ケーブルを使用してINCエンコーダを使用する際は、*印の接続がされていても問題はありません。お客様でINCエンコーダの結線をされる場合は、*印の配線は不要ですので結線しないでください。

注2：ピンNo.19および20には、上記以外の配線をしないでください。上記以外の配線をした場合には、ユニット内部部品の故障の原因となります。

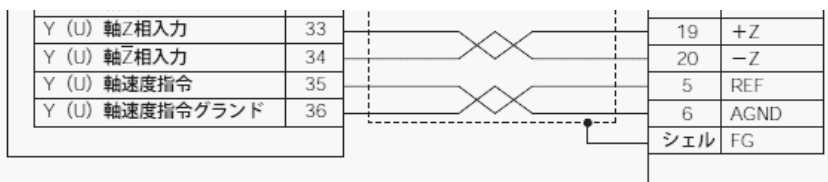
2-21

次ページにつづきます。

正誤内容のつづき

誤

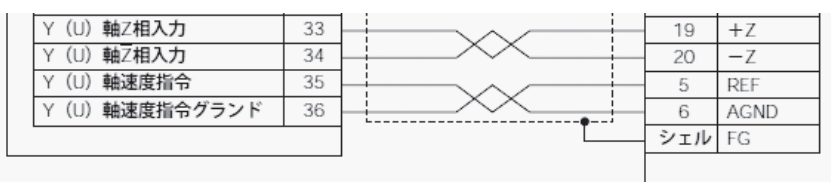
[2-22ページ]



注：*印の端子および配線は、絶対値(ABS)エンコーダ使用時のものです。専用ケーブルを使用してINCエンコーダを使用する際は、*印の接続がされていても問題はありません。お客様でINCエンコーダの結線をされる場合は、*印の配線は不要ですので結線しないでください。

2-22

正



注1：*印の端子および配線は、絶対値(ABS)エンコーダ使用時のものです。専用ケーブルを使用してINCエンコーダを使用する際は、*印の接続がされていても問題はありません。お客様でINCエンコーダの結線をされる場合は、*印の配線は不要ですので結線しないでください。

注2：ピンNo.19および20には、上記以外の配線をしないでください。上記以外の配線をした場合には、ユニット内部部品の故障の原因となります。

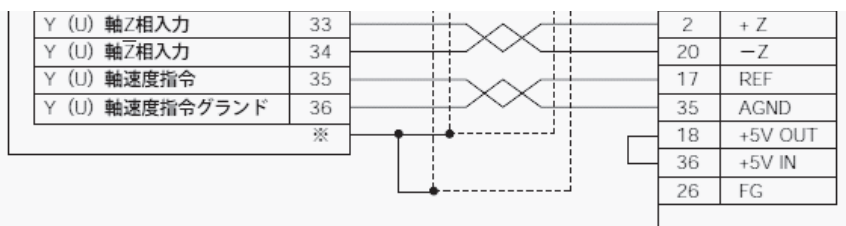
2-22

次ページにつづきます。

正誤内容のつづき

誤

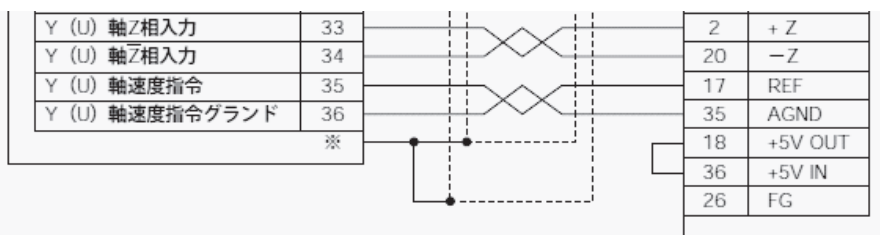
【2-23ページ】



注：シールド線は、MCユニット側コネクタの金具で接地してください。

2-23

正



注1：シールド線は、MCユニット側コネクタの金具で接地してください。

注2：ピンNo.19および20には、上記以外の配線をしないでください。上記以外の配線をした場合には、ユニット内部部品の故障の原因となります。

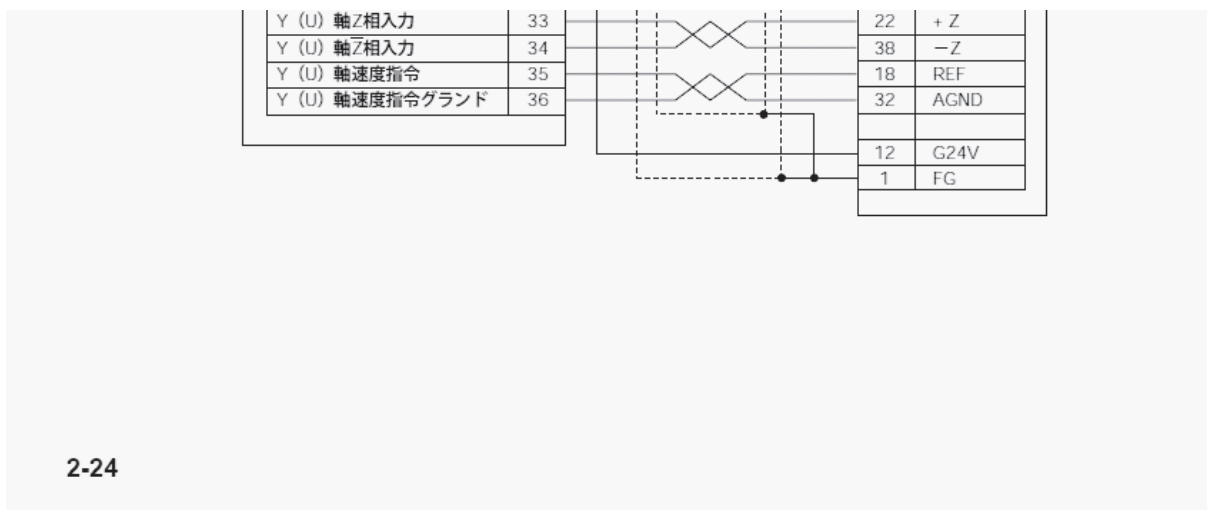
2-23

次ページにつづきます。

正誤内容のつづき

誤

【2-24ページ】



正

